県内の遺跡・遺物 17

横峯経塚出土品

所在地：新潟県北蒲原郡安田町大字寺社字横峯

県指定：昭和 55 年 4 月 15 日

横峯経塚は昭和 50 年、横峯遺跡（縄文時代中期・晩期）の発掘調査中に偶然発見されました。遺跡は阿賀野川右岸の標高約 20～23 mの丘陵上に位置します。経塚の発見された場所にはかつて溝を巡らした塚らしいものが存在したといわれています。経塚は 2 基発見され、いずれも上部の盛り土は失われていましたが、周溝と下部の土坑が検出されました。1 号経塚からは蓋を伴った経筒と和鏡、櫛、刀剣類、木製珠、紙縒断片など、2 号経塚からは密教大壇具の五鈷鈴・火舎、和鏡、短刀、青白磁の合子、白磁の皿、玉類、経巻断片、文字の書かれた礫などが出土しました。このうち、短刀類の 1 号経塚 14 口、2 号経塚 33 口という出土数の多さは、ほかに例をみないものです。造営年代は 1 号経塚が平安時代末期、2 号経塚が平安時代末期から鎌倉時代初頭と考えられています。

横峯経塚群　2 号経塚出土遺物　　（写真提供　安田町教育委員会）

（参考文献　川上貞雄 1979『安田町文化財調査報告書（4）横峯経塚群』安田町教育委員会）

お知らせ

埋文センターの資料室にある他県や市町村発行の報告書等書籍の閲覧や、展示物以外の遺物の見学を希望する場合は事前にご連絡下さい。なお、書籍の閲覧は資料室内に限っており、貸出は行いません。また、展示物以外の遺物の見学に関しては依頼文書の提出をお願いすることがあります。

埋文にいがた　No.19

発行　（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

〒956　新津市金津93番地1

TEL　(0250)25－3981

FAX　(0250)25－3986

印刷　有限会社　双葉印刷